

奈良市ニホンジカ第二種特定鳥獣管理計画 令和 3（2021 年）年度の実施方針（案）

1. 防除

令和 2 年度に検討した防鹿柵設置計画及び令和 2 年度設置防鹿柵の効果検証結果を踏まえ、防鹿柵を設置する。

2. 捕獲

令和 3 年（2021 年）度については昨年度の方針を踏襲し、以下のとおり、特定計画に基づき管理を実施する。

指定管理鳥獣捕獲等事業として実施する。

- ・ 期間
許可日以降～令和 4 年 3 月（予定）
- ・ 捕獲手法
被害地周辺にわなを設置
箱わな、囲いわな、足くくりわな
- ・ 捕獲頭数（上限）
下記の全 8 地区で 160 頭
- ・ 捕獲地域
令和 2 年度捕獲実施地区の 7 地区（田原地区、東里地区、柳生地区、大柳生地区、狭川地区、精華地区、東市地区）に、帯解地区を加えた 8 地区の管理地区(D地区)内

3. モニタリング

(1) 被害調査

【防鹿柵の効果検証調査】

令和 2 年度に設置した防鹿柵について、現地立ち会いのもと、防鹿柵設置箇所の耕作地所有者への対面形式によるヒアリング調査により実施する。

(2) 生息状況調査

【生息密度調査】

調査方法：糞粒法（調査区内のニホンジカの糞粒数をカウントして生息密度を算出）

調査メッシュ数：19 メッシュ（2km メッシュ）

調査日：令和 3 年 1 1 月～令和 4 年 1 月

算出方法：「FUNRYU Pa Ver2」（池田・岩本，2004、2013 年 6 月版）

【CPUE（密度指標）】

2 の捕獲結果にもとづき、CPUE をモニタリングする。

CPUE（密度指標）：ニホンジカの捕獲数／捕獲努力量（わな基・日数）

(3) 捕獲個体調査

個体群の基礎的な情報評価等のため、捕獲個体に関する情報を収集する。